科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER44 1T3 English Reading			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 木下 千花		
群	外国語科目群			分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	火1	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

『2001年宇宙の旅』（スタンリー・キューブリック監督、1968年）は映画史に輝く名作であると同時に、その図像や台詞が教養の一部となっている古典である。本授業ではこの映画の製作プロセスや受容を解説し作品を分析した英語の書籍 Peter Kramer, 2001: A Space Odyssey (London: British Film Institute, 2010) を毎週6-10ページ程度のペースで読む。 E-learning (PandA) を通しての質問、授業での発表とディスカッション、映像クリップを使った解説・紹介を通して、含意の取りにくい洗練された表現や文化的な背景についての疑問を解消し、英語表現についての理解を深める。

[到達目標]

・英語圏の知的な一般読者や大学生を対象とした英語をある程度まとまった量読むことで、英語を和訳せず英語として理解する力を培う。
・英語で質問や要約を書くことでアカデミック・ライティングに繋がる英語理解を目ざす。

[授業計画と内容]

・英語圏の大学の一般教養科目で読む程度の英語に触れ、最初は無理矢理でもある程度の量を読み、理解力を培う。
授業計画は以下の通り。ただし、あくまで予定なので、変更する可能性がある。
第1回自己紹介、教科書および授業の進め方の説明
第2-３回 映画鑑賞
第4回 Introduction (7-12)
第5回 chap. 1 (13-17)
第6回 chap. 2 (18-23)
第7回 chap. 3 (24-31)
第8回 chap. 4 (32-40)
第 9回 chap. 5 (41-48)
第 10回 chap. 5 (48-54)
第11回 chap. 6 (55-71)
第12回 chap. 6 (71-85)
第 13回 chap. 7 (86-93)
第14回chap. 8 (94-103)
第15回 試験
第16回 フィードバック
・履修者は、第4-14回は毎回上記の指定部分を読んで予習してくること(「授業外学修」参照)。
・合計2回はグループ・プレゼンテーションを行う。プレゼン自体は英語でも日本語でもかまわないが、パワーポイントは英語で作成すること。
・第5-14回の間で合計2回は「英文要約」が回ってくる。1パラグラフでその週の部分を要約し、授業に持参する。

英語リーディング ER44(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER44(2)

・毎授業開始時に前回分の簡単な単語テストを行う。
・授業中は積極的に授業に参加すること。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

授業への積極的な参加: 20%
課題（映画コメント、質問＋プレゼンテーション、要約）: 45%
単語テスト：10%
筆記試験: 25%
・正当な理由や事前の相談なしにプレゼンテーション担当回の授業を無断欠席した者は、上記「課題」のプレゼンテーション点のみならず、「授業への積極的な参加」（20%）から大幅に減点する。

[教科書]

Peter Kramer 『2001: A Space Odyssey』（British Film Institute）ISBN:1844572862

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習:
毎週、範囲(6-10**ページ程度**)**を読む。和訳はしないこと。**
・非常に重要である/興味深いと思った文には何らかの印をつけるか、書き出す。
・「要するにこういうこと」という簡潔なメモを英語もしくは日本語で適宜余白に書き入れる(**もしくはノートに書き出す**)**のは効果的。**
・一方、どうしても意味不明の文があれば、辞書を引いて単語の意味を調べ、構文と前後の意味を再確認する。
・それでも意味がわからない文には印をつけるか書き出すかし、授業中に質問する。
プレゼンテーション(1**人**2**回/学期を予定**)**：**
・「予習」をしたうえで、該当回の内容についてグループ・プレゼンテーションを行う。詳細は第1**週に説明する。**
なお、グループ活動への参加に支障がある場合、他の課題などで対処するので相談すること。
要約(1**人**2**回/学期を予定**)**：**
・「予習」をしたうえで、該当回の内容を1**段落程度の英語で要約し、授業開始時にプリントアウトで提出する。書式などについては第**1**週に説明する。**
単語テスト：
前回の範囲のVocabulary List**を復習し、単語テストで達成度を確認する。**

[その他（オフィスアワー等）]

PandA**を予習および授業中に使用する。インターネット、電子メールも使えることが望ましい。これらのツールをどうしても使用できない事情がある履修者は、相談すること。**